学校番号	304

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書道Ⅱ」　（大修館書店）						
副教材等	くらしのペン習字（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 書道Ⅰの内容をふまえた、発展的な内容です。用具用材、書体、書風等について深く学び、自分の表現意図に応じて構想し、個性豊かに表現を工夫していきましょう。
② 主体的に書の創造的な学習に取り組みながら、他者との対話を通して表現の工夫を重ね、深い学びへとつなげていきましょう。
③ 書の表現の多様性について理解を深め、生涯にわたり書を身近な存在として感じられるようになりましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・ 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。 ・ 書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するため技能を身に付け、表している。	・ 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫している。 ・ 作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりしている。	・ 主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書	● 漢字の五書体(篆書、隷書、草書、行書、楷書) ・ 古典の鑑賞と臨書を通して、各古典の特徴を把握し、書体に応じた効果的な表現の技能を身につけ、特徴と用筆・運筆の関わりについて理解を深める。 ・ 各古典の理解を深めることで、自己表現の手がかりをつかみ、作品制作に生かせるようにする	a:各書体の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書の特質とその歴史、書の美と時代、風土、筆者との関わりについて理解を深めている。（知） a:漢字の書を構成するさまざまな要素、古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:漢字の書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身につけている。（技） b:漢字の書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b: 漢字の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深くとらえている。 c: 主体的に漢字の書の表現及び鑑賞の創造的な学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養っている。	作品	作品 観察 ワークシート	作品 観察 ワークシート 作品ファイル

		● 篆刻 ・ 篆書の学習と関連を図るとともに、印の歴史と表現の多様性、役割について学び、文字文化の視点から書の伝統と文化ならびに生活や社会との関わりについて理解を深め、制作する。	a:篆刻や刻字を構成するさまざまな要素、書体・書風や配字等による表現の効果を理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者との関わりについて理解を深めている。（知） a:効果的な表現の技能、書体・書風、配字等による全体の構成の技能を身につけている。（技） b:篆刻の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 c:主体的に篆刻の表現及び鑑賞の創造的な学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養っている。	作品	作品 活動の様子 ワークシート	作品 活動の様子 ワークシート 作品ファイル
2学期	仮名の書	● 仮名の書 ・ 古筆の鑑賞と臨書を通して、各古典の特徴を把握し、書体に応じた効果的な表現の技能を身につけ、各古典の特徴と用筆･運筆の関わりについて理解を深める。 ・ 各古筆の理解を深めることで、自己表現の手がかりをつかみ、作品制作に生かせるようにする。	a:仮名の書を構成するさまざまな要素、仮名の古筆の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 （知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者との関わりについて理解を深めている。(知) a:仮名の古筆に基づく効果的な表現の技能、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身につけている。（技） b:仮名の作品の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 b:仮名の作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c: 主体的に仮名の書の表現及び鑑賞の創造的な学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養っている。	作品	作品 活動の様子 ワークシート	作品 活動の様子 ワークシート 作品ファイル

3学期	漢字仮名交じりの書	● 漢字仮名交じりの書 ・ 漢字及び仮名の古典学習をもとに、その表現を参考にした制作をする。詩文の選定、表現形式、用具・用材、全体の構成などを感興や意図に応じて構想し、イメージを明確にしながら個性豊かな表現を工夫する。	a:漢字仮名交じりの書を構成するさまざまな要素や、名筆や現代のさまざまな書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の特質とその歴史、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。（知） a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身につけている。（技） b:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c: 主体的に漢字仮名交じりの書の表現及び鑑賞の創造的な学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養っている。	作品	作品 活動の様子 ワークシート	作品 活動の様子 ワークシート 作品ファイル

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度